

24. 中央検査科 (①病態解析、②内視鏡・超音波)

①病態解析

1. GIO(一般目標)

診療行為における臨床検査の役割を理解し、検査によって得られた結果を評価した上で総合的に病態の把握ができるようになるために、臨床検査医学の基本とその応用方法を身につける。

2. SBOs(行動目標)、3-1. LS(方略)、4-1. Ev(評価)

行動目標(SBOs)				研修方法(LS)	評価方法(EV)	
臨床検査医学総論						
検査計画の立案	実習	口頭試問		内部精度管理の実施・評価	実習	口頭試問
外部精度管理の評価	実習	口頭試問		検査結果の変動要因解析	実習	口頭試問
検体の管理 (採取、保存、前処理)	実習	観察		緊急検査項目の評価	実習	口頭試問
				R-CPCによる症例検討	実習	口頭試問
一般臨床検査学						
尿一般検査(尿沈渣顕微鏡検査を含む)	実習	観察		糞便検査	実習	口頭試問
				脳脊髄液検査	実習	口頭試問
喀痰検査	実習	口頭試問				
穿刺液検査	実習	口頭試問				
臨床化学						
血清蛋白異常の検査	実習	口頭試問		血清酵素異常の検査	実習	口頭試問
糖・脂質代謝異常の検査	実習	口頭試問		内分泌・代謝異常の検査	実習	口頭試問
臓器別機能検査	実習	口頭試問				
臨床血液学						
血球計測	実習	観察		血液形態学(末梢血)の検査	実習	観察
血液形態学(骨髄検査)の検査	実習	観察		凝固異常に対する検査	実習	口頭試問
臨床免疫学・輸血学						
液性免疫異常の検査	実習	口頭試問		細胞性免疫異常の検査	実習	口頭試問
補体系異常の検査	実習	口頭試問		輸血関連検査(血液型判定・交差適合試験など)	実習	観察
輸血療法の効果や適応	実習	口頭試問		輸血副作用の診断と治療	実習	口頭試問
臨床微生物学						
細菌感染症の検査	実習	観察		真菌感染症の検査	実習	観察
ウイルス感染症の検査	実習	観察		その他の感染症の検査	実習	口頭試問
院内感染対策	実習	口頭試問				
遺伝子検査学						
遺伝子検査の基礎技術	実習	口頭試問		精度管理、精度保証	実習	口頭試問
遺伝子検査室の運営	実習	口頭試問		遺伝子診断	実習	口頭試問
遺伝カウンセリング	実習	口頭試問		感染症遺伝子検査	実習	口頭試問
臨床生理学						
心電図	実習	観察		ホルター心電図・負荷心電図	実習	観察
呼吸機能検査	実習	観察		血液ガス	実習	観察
神経・筋関連検査	実習	観察				

3-2. LS(方略)

On-the job training (OJT)

- 1) 毎日定期的に行われる臨床検査(輸血関連検査を含む)業務に参加し、検体の扱い、検査方法、判定方法を実習し、検査技能を修得する。
- 2) 中央検査科医師の臨床検査コンサルテーション、感染対策室(Infection Control Team: ICT) 抗菌薬適正使用支援チーム(Antimicrobial Stewardship Team: AST)のミーティングと回診に参加し、自らの意見を述べる。

3)必要時には指導医のもと、臨床検査に伴う合併症、輸血副作用が発生した患者の診察、治療を行う。

カンファレンス等

- 1)毎週月曜日 17時30分より、免疫・生化学部門における測定項目別勉強会を行う。
- 2)毎週火曜日 17時30分より、血液疾患および細胞形態（血液、骨髄など）カンファレンスを行う。
- 3)毎週木曜日 14時より、ICTの回診が行われる。
- 4)毎月第4金曜日、14時より院内感染対策委員会コアミーティングが行われる。
- 5)毎週月、水、金曜日 9時より、ASTのミーティングが行われる。
- 6)年4回以上、感染防止対策地域関係カンファレンスが行われる。

3-3. LS (方略)

週間スケジュール

*指導医の指示に従い、所定の日に参加する。

	月	火	水	木	金	土
午前	指導医による指導・自己学習 AST ミーティング*	検査室研修・検査診断業務	指導医による指導・自己学習 AST ミーティング*	検査室研修・検査診断業務	指導医による指導・自己学習 AST ミーティング*	WECまたは検査室研修・検査診断業務
午後	検査室研修・検査診断業務	検査室研修・検査診断業務	検査室研修・検査診断業務	ICT回診* コンサルテーション外来*	検査室研修・検査診断業務 ICT ミーティング(1回/月)*	
夕方	免疫・生化学部門測定項目別勉強会	血液形態カンファレンス				

4-2. Ev (評価)

- 1) 研修医は研修終了時に自己評価レポートを提出し、これに基づき指導医が研修状況を点検・評価する。
- 2) 指導医は、研修医ごとに達成状況の把握と指導に努め、研修終了後に行動目標（上記2.）の各評価項目、方法に従って評価する。